



◆ 歴代城主の家紋



初代 寺沢氏 陣幕



二代 大久保氏 大久保藩



三代 松平氏 藩(つた)



四代 土井氏 水軍



五代 水野氏 沢高(おむだか)



六代 小笠原氏(三階堂)

【唐津城周辺地図】



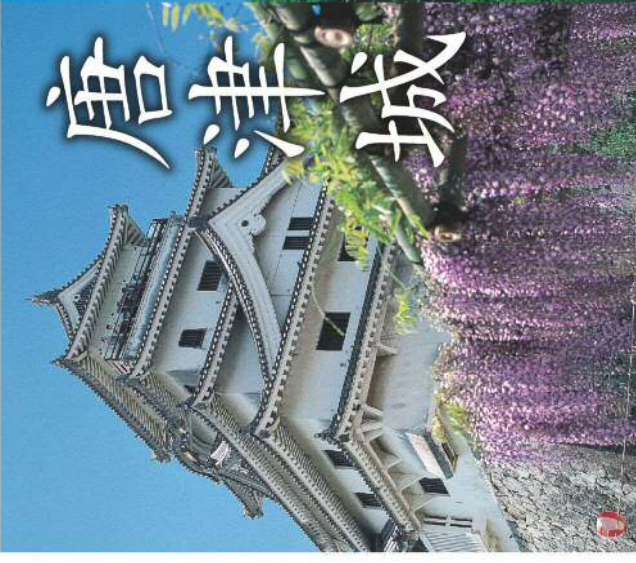
- 一般: 500円(400円)
 - 小中学生: 250円(200円)
- ※()内は20名様以上の団体料金です。

◎ 天守閣の設備が充実

- 全館Wi-Fi環境の整備
無料Wi-Fiスポットを併用し、気軽にインターネットがご利用できます。
- トイレの整備
新たにトイレと授乳室を設置。多目的トイレは、車いすの対応やオストメイトなど要領が充実しています。
- 防災機能の充実
耐震壁・卓上ブレースの増強により天守閣の耐震性能が向上しています。
- 空調設備の導入
1階から5階まで空調設備を導入し、展示資料の保存環境が改善され、入館者も快適に観覧が楽しめます。

【お問い合わせ】

【TEL】0955-72-5697
 【FAX】0955-72-5716
 【Email】info@karatsujoh@karatsujoh-bunka.or.jp
 【駐車場】東城内駐車場(有料)をご利用ください。
 【開館時間】午前9時から午後5時まで
 ※入館は午後4時40分まで
 ※季節により時間延長あり
 〒847-0016 佐賀県唐津市東城内8番1号 【休 日】12月29日から12月31日まで



唐津城

◆ 唐津城の歴史

- 1593年(文禄2年) 渡多氏改易
- 1594年(文禄3年) 寺沢氏唐津を領す
- 1600年(慶長5年) 天草郡が唐津領となる(十二万三千石)
- 1608年(慶長13年) 唐津城築成
- 1647年(正保4年) 寺沢氏改易
- 1649年(慶安2年) 大久保氏入部(八万三千石)
- 1678年(延享6年) 松平氏入部(七万三千石)
- 1691年(元禄4年) 土井氏入部(七万石)
- 1762年(宝暦12年) 水野氏入部(六万石)
- 1771年(明和8年) 虹の松原一揆
- 1817年(文化14年) 小笠原氏入部(六万石)
- 1862年(文久2年) 小笠原長行幕府老中格となる
- 1869年(明治2年) 版籍奉還
- 1871年(明治4年) 唐津藩県
- 1877年(明治10年) 唐津城址公園となる
- 1966年(昭和41年) 唐津城天守閣 落成
- 2017年(平成29年) 唐津城天守閣リニューアルオープン

KARATSU CASTLE SINCE 1608

가라쓰 성 1608 축성



唐津城天守閣リニューアルオープン
 Best from the Best to early May
 2017.5.18(土) 12:00 開館
 2017.5.19(日) 10:00 開館



5階 展望フロア



3階 唐津焼フロア



2階 唐津の歴史フロア



1階 観光案内・体験フロア

絶景のパナラマビュー

人気の展望所は、海に面した絶景のポイント! スマートフォンを利用したARパナラマビューは、展望所からの景観にスマートフォンを向けると観光名所の案内や唐津城からの所要時間、解説動画が流れます。

4階 交流・休憩フロア

唐津の魅力を紹介する市民ギャラリーや体験・交流スペースを設けた城内でくつろげる空間です。

唐津焼

16世紀末から興り始めた唐津焼は、形や色合いが多様で、素朴な風情と表情豊かな味わいが多いのが、茶人にも愛されました。



▲唐津焼の産業を総論で紹介する「肥前県産物園芸」歴史館立博物館蔵

唐津史

中世から近世の唐津の歴史を貴重な資料とともに紹介しています。



魅力ある唐津をご紹介します

デジタルサイネージを活用し、唐津城を拠点とした唐津市内の魅力ある観光ルートを紹介し、唐津城以外の観光文化施設や食事処、おみやげ処へ誘います。体験コーナーでは、藤田秀吉の兜や小笠原長行の兜等の衣裳を着用し、デジタル記念撮影コーナーで撮影することができます。



▼装輪文八角皿



▼朱漆塗糸織弘二休閑具足



初代藩主の偉業 「虹の松原」

初代藩主の寺坊広高が慶長年間から植林したもので、約100万本の黒松の群生は潮風を防ぎ、この地に豊かな農地をもたらすことになった。



The original construction of Karatsu Castle began in 1602 and took seven years to complete. It was built by Terasawa Shimanokami Hiroetaka, a former retainer of Toyotomi Hideyoshi. Some of the construction materials are said to have come from Nagoya Castle, which was dismantled when the Tokugawa clan took power. Winged by swooping beaches, the fortress became popularly known as *Mizuru-Jo* ("Dancing Crane Castle") because of a fancied resemblance to a bird. Following the Terasawa clan, the Okubo clan and later the Matsudaira, Doi, Mizuno, and Ogasawara clans became lords of the castle. In 1877, the castle precincts were opened as Mizuru Park. The present-day castle keep, built in the style of the early 17th century, was raised on foundations laid in the feudal period. It was completed in October, 1868 as a cultural and sightseeing facility.

初代藩主の寺坊広高が慶長年間から植林したもので、約100万本の黒松の群生は潮風を防ぎ、この地に豊かな農地をもたらすことになった。

カタルス 景観は、もともと、肥前守の代官、寺坊広高が、1602年から7年の歳月を費やして完成させた。築城には名産の松の幹材を用いたと伝えられ、城を覆った松林が翼を振った鶴のようにも見えることから、別名「舞鶴城」とも呼ばれています。その城主には、寺沢、大久保、松平、土井、水野、小笠原の諸氏が任じられ、明治10年に本丸跡は舞鶴公園となり、1877年に本丸跡は舞鶴公園として開園された。その後、1868年10月に完成した。文化観光施設として、1966年10月に完成された。



舞鶴公園案内図

- ①天守閣 / ②唐津城址跡 / ③本丸(上段広場) / ④化粧櫓 / ⑤大手門 / ⑥西門 / ⑦北門 / ⑧二ノ曲輪(中段広場) / ⑨天然記念物紫雲フジ / ⑩井戸 / ⑪神社 / ⑫舞鶴成吉思観音 / ⑬多宝塔 / ⑭エレベーター-薬師口